



**5月18日（日）開催
NPOセンターまつり新宿2014
最新情報！**

第2回となる今回は、NPOの専門分野を活かした相談コーナーや活動説明コーナーはもちろん、活動を気軽に体験できるブースを充実させます！

祭に欠かせない「模擬店」や、前回好評いただいた「xChange（物々交換）」も登場します。そして新たに「フリーマーケット」も実施する予定です。

NPOに興味がある人も、そうでない人も、楽しんでいただける企画をご用意しておりますので、ぜひご来場ください。

※フリーマーケット出展方法を含め、詳細は次号Npop'nやFacebookなどでお伝えします。



作成&発行

新宿区立 新宿NPO協働推進センター
(〒169-0075 新宿区高田馬場4-36-12)

お問合せ

TEL : 03-5386-1315 FAX : 03-5386-1318
MAIL : hiroba@s-nponet.net

アクセス

- ・JR山手線『高田馬場』駅より徒歩15分
- ・JR中央線『東中野』『大久保駅』より徒歩15分
- ・西武新宿線『下落合』駅より徒歩12分
- ・東京メトロ東西線『落合』駅より徒歩10分
- ・都営大江戸線『東中野』駅『中井』駅より徒歩15分
- ・都営バス、関東バス『小滝橋』より徒歩4分
(上69、飯64、橋63、飯62、宿08、宿02、百01)

新宿NPO協働推進センターは、区内社会貢献活動団体のネットワークづくりの拠点施設としてオープンしました！センターでは、社会貢献活動団体への施設の貸出しの他、相談や情報提供、講座等、さまざまな事業を実施しています。

センター主催イベント

NPOをめぐる人事・労務について学ぶ

日時：5月27日（火）18：30～20：30
内容：組織を運営する上で欠かせない知識をNPOの特殊性を踏まえながら学びます
対象：社会貢献活動を行なっている方、これから始めようと考えていらっしゃる方
場所：新宿NPO協働推進センター401会議室
参加費：1,000円

NPOのための会計講座（仮称）

日時：7月第2週から3回の連続講座（決定次第、HP等でお伝えします）
内容：会計の実務的な処理方法。未収金、未払金、預り金など、うやむやにしがちな点の正しい処理の仕方を学びます。
対象：社会貢献活動を行なっている方、これから始めようと考えていらっしゃる方
場所：新宿NPO協働推進センター401会議室
参加費：各回1,000円

★参加希望の方は、電話、FAX、メールにて、センターへご連絡下さい。（下記問合せ先）



Npop'n えぬぽっふん



NPO POP NEWS 略して『Npop'n』！

新宿NPO協働推進センターから、社会貢献活動に関連したポップな話題をお伝えします！

まちをよくするための協働って、どういうこと？

「協働」という言葉を聞いたことがありますか？協働とは「同じ目的のために対等の立場で協力して 共に働くこと」とされていますが、まちを良くするために対等に協力するというのはどういうことなのでしょう？今回、講師に（株）アリエールマネジメントソリューションズ代表 矢代隆嗣さんをお迎えして、3月10日（月）と17日（月）の2日間「協働事業のポイント」というタイトルで講義、ケーススタディ、個人演習、そしてグループ内討議を行ないました。講義の内容のポイントと講座の様子をお知らせします。

講義その1

◆協働事業は地域の課題を解決する手段

地域における協働（手段）の目的は、地域問題の解決です。ですから、協働したことによる成果とは、協働して取り組んだ問題が解決された状態となります。

なお、今、地域で取組が行われている協働は、地方分権化を背景に住民自治による住民、市民団体・NPO、企業、行政という多元的主体間の連携による課題発見、政策立案、執行、評価を通じた住みよいまちづくりには大きな狙いがあります。従来の行政が公共の担い手という考え方、枠組みの中で、公的サービスの効率化を目的に、その新たな担い手とともに公的サービスを供給するだけではありません。

◆協働の現状

現在、自治体の取組として、担当部署を設置し、条例を作り制度を構築し、市民団体・NPOとの協働がおこなわれてはいますが、中止・中断や、継続していても、協働の本来の目的である地域の問題解決には至っていないケースがあります。その背景として、市民団体やNPO、行政にとって地域の問題解決に協働で取り組むことへの経験が少ないことが大きいと考えます。

協働のまちづくりを実現するためには、まず、地域の問題を多彩な主体が連携して解決することに慣れ、参画する人たちの協働に対する意識を変え、必要な能力の向上を図りながら、住民自治によるまちづくりの基盤整備づくりを推進していくことが重要です。

協働提案事業は、その基盤づくりの良い機会なのです。

講義その2

◆「協働の成果要因」とは

成果を出している協働の成功事例からまとめた成果要因を紹介します。

成果要因は「協働の環境整備面」と「協働の活動面」に分けられますが、“行政と活動を共に行う団体”向けの講座ということで、「協働の活動面」にみる成果要因を参考にさせていただきたいと思います。

<協働の活動面>

★a.協働関係での成果要因

- ① 目的（趣旨）が明確にされ、共有されている。
- ② 役割分担が明確にされ、実施されている。
- ③ 対等の関係性が維持されている。
- ④ 信頼関係が構築されている。
- ⑤ 関係者間で密なコミュニケーションがとられている。

★b.参画者（協働参画の組織、個人）の成果要因

- ① （テーマの）問題解決に対する使命感を共有している。
- ② 成果実現志向である。
- ③ （テーマの）問題解決に適切な専門能力が発揮されている。
- ④ 自立した組織である。
- ⑤ 自己変革している。

★c.事業マネジメント

- ① 計画段階で具体的な成果目標設定とその実現の方法を設計し、共有している。
- ② 適時適切な進捗管理と活動の節目毎・年次で評価し、次に活かしている。
- ③ 適切な資源調達、管理されていること。
(成果を出すには、それに必要な資源投入が求められることから、①、②の中に組み込むことも可能であるが、③として独立させている)
- ④ 活動結果を適切に公開、説明責任が行われている。
- ⑤ ステークホルダーとの良好な関係が維持されている。



講師の矢代隆嗣氏

成果要因を実践で活かすためには、
企画案がとても重要です。

講義その3

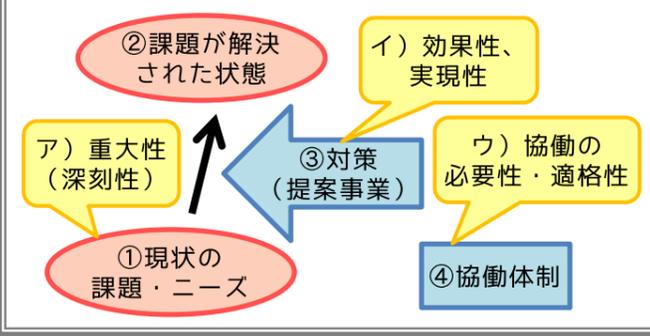
◆協働事業の企画づくり

成果要因から浮かび上がるように、協働においては企画段階がとても重要です。

企画の骨格は下記図の通りにア)～ウ)の説明が求められます。

- ア) 問題の重要性 (深刻性)
- イ) 手段である事業の重要性 (効果性、実現性)
- ウ) 協働の必要性、適格性

<企画に求められる説明(責任)>

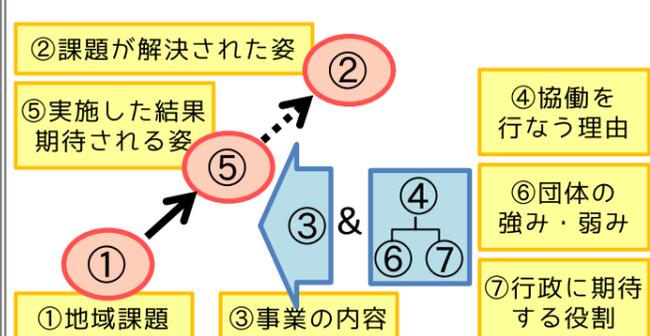


◆提案事業企画案の7項目

講座では、提案書作成の核となる7項目とその関係性を紹介。企画書のポイントは、「7つの質問に答える内容を書くこと」。そして、書いた内容がつながりを持ってストーリーとして描かれている(伝わる)ことが重要です。

- ① どのような地域課題・ニーズに取り組みますか?
- ② どのような地域になったらいいですか?
- ③ どんな事業(対策)を考えていますか?
- ④ ③の事業を協働で行なう理由はなんですか?
- ⑤ 協働事業を実施したことで、どのような結果が期待できますか?
- ⑥ 団体の強み・弱みはなんですか?
- ⑦ 行政に期待する役割はなんですか?

<7つの関係>



受講レポート

◆ケーススタディと意見交換

講座1日目に、講座を聴いたあと、グループに分かれて仮定の協働事業提案書を元にケーススタディを行ないました。提案書に書かれている内容を骨格シート(企画案の7項目)に落とし込んだものです。「何が伝わっていないのか」「ストーリーとして描かれているのか」「課題がきちんととらえられているか」などをグループごとに話し合いました。ポイントをまとめ、グループごとに意見を発表しました。意見交換し、まとめていく中で、企画案の7項目の関係を具体的に学ぶことができました。

◆協働事業を企画をしてみる

講座2日目は、参加者自身の企画を考える個人演習を行い、グループで自分の企画を発表しました。講師の矢代さんがおっしゃっていたように、自分たちがどんな活動をするのかは饒舌に語れるものの、そもそもの地域課題が捉えられているのか、に始まり、「協働事業を行なうことでこんなにまちが変わります」と成果をはっきりと示せるか、など、「協働事業」の骨格をしっかり組み立て、ストーリーを描くことの難しさに気づかされました。参加された方はすでに団体で活動をしている方、団体設立を考えている方、行政とのかかわりを考えている方などさまざまでしたが、何かを学んで、帰っていただけようでした。とても充実した内容の2日間でした。

(担当: 桑田)



協働することで地域は変わりますか?



課題がそもそもなんなのか、よく検討してみましょう。

受講者の声

☆仕事と行政の関わりを学びたくて参加しました
考える機会を与えてもらえました。具体的に書いてみることで、不足点や現在の活動の意味を考えさせられました。(20代・男性)

☆NPOを設立して活動していくことを考えているので参加しました
企画書を書く自信が生まれました。他の人の意見を聞いて大変参考になりました。(70代・男性)

☆申請・応募を検討していたから参加しました
内容が(グループワーク)があって、大変参考になりました。もう少し時間が欲しかったのですが、このくらいの時間がよかったのだと思います。(30代・女性)

☆新しく団体を作ったので参加しました
とても勉強になりました。もっと教えていただきたいです。(40代・男性)

Let's TRY!

ポイントを押さえて、協働事業提案制度にチャレンジしてみましょう。詳細は区報5/15号で!

新宿区協働事業提案制度説明会

- ①5月19日(月) 14時~16時
講演会「提案書の書き方のコツ」&募集説明会
講師:協働支援会議公募区民委員 太田 節子
 - ②5月21日(水) 14時~16時30分
25年度協働事業提案実施団体報告会&募集説明会
 - ③5月23日(金) 18時30分~20時30分
講演会「審査員が思わずなる提案書」&募集説明会
講師:協働支援会議委員 伊藤 清和
(元富士ゼロックス東京(株) CSR部社会貢献推進グループ)
- 【会場】①・③:新宿区役所 本庁舎 3階302会議室(新宿区歌舞伎町1-4-1)
②:新宿NPO協働推進センター501会議室

Event Information

センター登録団体のイベント情報や、活動に役立つ講座等を紹介します!

地球のことを考えて行動する日
Earth Day Tokyo/アースデイ東京

日時:2014年4月19・20日 両日とも10時スタート
場所:代々木公園ほか(渋谷区代々木神園町2-1)
参加費:入場無料
問合せ:アースデイ東京2014事務局(A SEED JAPAN)
【電話】03-5315-4405
【MAIL】office@earthday-tokyo.org
【詳細】http://www.earthday-tokyo.org/2014/index.html

「声みがき術」でアンチエイジング
昭和のかほりで元気いっぱい!

日時:2014年4月26日(土) 14時~15時30分
場所:新宿NPO協働推進センター102会議室(新宿区高田馬場4-36-12)
参加費:1000円
問合せ:NPO法人 日本青少年音楽芸能協会
【電話】03-5909-3083
【FAX】03-5909-3084
【URL】http://www.seionkyo.org/

市民とNPOの交流サロン
ホームレスがビジネスパートナー

日時:2014年4月28日(月) 18時~20時
場所:新宿NPO協働推進センター401会議室(新宿区高田馬場4-36-12)
語り手:ビッグイシュー日本
参加費:1000円
問合せ:一般社団法人 新宿NPOネットワーク協議会
【電話】03-5206-6527
【MAIL】hiroba@s-nponet.net

<イベント情報掲載依頼方法>

- ◆対象期間:開催日が2014年5月16日~6月15日
- ◆募集締切:2014年4月25日(金)
- ◆対象団体:当センター登録団体
- ◆掲載件数:7件(1団体1号につき1件まで。応募が多い場合は、開催地が当センターや新宿区内のイベントを優先させていただきます。)
- ◆申込方法:タイトル、日時、場所、参加費、問合せ先を、新宿NPO協働推進センターまで、FAX又はメールにてご連絡ください。